

平成28年度 事業報告書

事業名	ふるさと山梨県立ちコンサート							
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)							
事業実施状況 5月22日	音楽の専門教育を受け、28年度から音楽家への道を志す新進アーティストにステージを経験してもらったための事業。30年以上継続して開催しており、出身者が多数、文化ホールの音楽事業に貢献している。							
	(具体的な実施状況)							
	2015年 11月	12月	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
	実行委員会開催			出演者前座会			・22日 公演	
入場者・参加者等	目標入場者 250人	(内訳)						
		出演者	13人					
		スタッフ	25人					
		入場者	300人					
後援者名・協賛者								
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	公立施設などへのチラシ、ポスター配布。出演者、団体による集客。							
	総事業費	765,000円						
	入場料収入	[REDACTED]						
	助成金・補助金等	[REDACTED]						
	その他収入	[REDACTED]						
	自己財源	[REDACTED]						
実施までに発生した問題点	少子化の中で、音楽教育を終了し音楽家を目指す若者が著しく減少している。このため、出演者の確保が年々難しくなっている。全国の主な音楽大学、専門学校に対し県内のOJを通して出演者の募集を働きかけているが、個人情報保護の観点から以前のように協力が得られていないのが現状。							
参加者・観客者の反響	実演体験の場を提供しており、参加者には好評。特定の出演者を目的した来場者が大半を占めるコンサートだが、ここ数年は、様々な演奏形態を鑑賞できるステージを楽しむ一般の来場者も増加している。							
実施後の感想及び反省点等	30年以上にわたり、スタイルを変えることなく継続している。出演者にとっては、唯一の経験でありスタイルを変えないで実施することのメリットも多いが実施側にマンネリ感がある。							
次年度以降の展開・展望	コンサート終了後出演者同士や出演者と実行委員の交流を深めるための機会を設ける予定。この機会を通して、出演者の持っている情報を生かし、次年度以降の出演者募集やホールの自主制作作品に生かしていく。							

平成28年度 事業報告書

事業名	みんなの歌コンサート										広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	新聞、ラジオによる広報PRを実施。この他ホールのホームページや広報誌で集客を図った。						
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)													<p>実施までに発生した問題点</p> <p>参加者・主催者の反響等</p> <p>実施後の感想及び反響</p> <p>今後の課題</p>	総事業費	3,350,000円		
小ホール	NHKの「みんなのうた」の名曲をライブで演奏する。番組55年の歴史の中から誕生した1300曲以上の作品から子どもから高齢者まで楽しめる曲を演奏。3世代が一緒に楽しめるコンサート。										入場料収入	[REDACTED]						
事業実施状況	(具体的な実施状況)										助成金・補助金等	[REDACTED]						
5月29日											その他収入	[REDACTED]						
	2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		自己財源	[REDACTED]						
		9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月	4月	長期間にわたり、多くの人に親しまれてきた「みんなのうた」であることから、特に中高年層をターゲットに広報PRを展開した。しかし結果は、幼稚園児らの来場が大半を占めた。							
入場者・参加者等	目標入場者 500人	(内訳) <table border="1" data-bbox="481 1069 716 1149"> <tr> <td>出演者</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>500人</td> </tr> </table>										出演者	5人	スタッフ	20人	入場者	500人	幅広い世代に楽しんでもらえるコンサートとして開催したが、青少年層から50歳代には訴求しなかった。結果的に幼稚園をターゲットにしたPRに切り替え、来場者を増やすことができた。
出演者	5人																	
スタッフ	20人																	
入場者	500人																	
後援者名・協賛者												3世代が楽しむことのできる公演は、本公演に問わず招聘していきたい。						

平成28年度 事業報告書

事業名	ワークショップ2 あなたの文化をみつけよう「音楽を楽しむフェスティバル」							
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)甲斐清和高校 様々なステージアートを実際に挑戦してみて、自分にあったものを見つけてもらうシリーズワークショップ「あなたの文化をみつけよう」の一環。今回は、県内唯一の音楽学科を有する甲斐清和高校とのコラボレーションで、音楽に取り組みたい方、音楽をもっと極めたい方、音楽鑑賞ファンにも満足いただけるプログラムを8月の5日間、会場を小ホールから練習室、会議室まで使用し、音楽に関わる44講座を一斉に実施した。							
事業実施状況	8月20～24日 (具体的な実施状況) 2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 甲斐清和高校とプログラム打ち合わせ プログラム確定・参加者募集 20日～24日 レッスン& ミニコンサート 2017年 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月							
入場者・参加者等	目標受講者 (内訳) 参加者	8月20日 229人 個人レッスン &ミニコン サート	8月21日 33人 個人レッスン	8月22日 73人 個人レッスン	8月23日 95人 個人レッスン	8月24日 245人 個人レッスン &ミニコン サート	計)675人	
後援者名・協賛者								
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	レッソンの内容を明記した大判チラシを県内の公共施設などに設置。同時に文化ホールのホームページや広報誌に掲載し参加者を募集した。							
総事業費	1,250,000円							
入場料収入								
助成金・補助金等								
その他収入								
自己財源								
実施上の発生した問題	楽器演奏や音楽理論を個人指導する方法をとったため、利用する部屋の割付や指導者のスケジュール調整に時間がかかった。							
参加者・主催者の反響等	文化ホールの施設をフルに利用して、音楽関係の個人レッスンを安価で開催した。参加者の満足度は非常に大きかった。一人で複数のレッスンを受ける受講者もあり公表だった。							
実施後の感想及び反響等	県民に文化に取り組むきっかけを見つけてもらうことを目的に開催している「あなたの文化をみつけよう」シリーズの中でも、大掛かりな取り組みとなった。複数の練習室、大小ホールなど施設の特徴を最大限に活用し個人レッスンによる文化講座を実現することができた。受付案内など手数のかかる部分も多いが、今後のホールでのワークショップのあり方に新しい道を開いたと考えている。							
次年度以降の展開・展望	引き続き、甲斐清和高校の協力が得られる見通しで、受講者たちの要望がある限り開催を継続して行く。							

平成28年度 事業報告書

事業名	劇団四季ミュージカル「ウェストサイドストーリー」								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	テレビ、ラジオ、新聞のメディアによる広報を展開。同時にホールのホームページや広報誌への掲載で集客を図った。									
主催・共催状況	単独主催 (共催あり (共催先:)山梨日日新聞、山梨放送																		
可決の概要 (出演者など)	ミュージカルの名作「ウェストサイドストーリー」の劇団四季による公演。劇団四季の作品としても代表作となっている。すぐれたミュージカルを鑑賞する機会を県民に適用するため山日YBSと共催で開催する。								<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1352 330 1525 475">総事業費</td> <td data-bbox="1532 330 2078 475">3,728,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 475 1525 523">入場料収入</td> <td data-bbox="1532 475 2078 523">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 523 1525 571">助成金・補助金等</td> <td data-bbox="1532 523 2078 571">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 571 1525 619">その他収入</td> <td data-bbox="1532 571 2078 619">[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 619 1525 667">自己財源</td> <td data-bbox="1532 619 2078 667">[REDACTED]</td> </tr> </table>	総事業費	3,728,000円	入場料収入	[REDACTED]	助成金・補助金等	[REDACTED]	その他収入	[REDACTED]	自己財源	[REDACTED]
総事業費	3,728,000円																		
入場料収入	[REDACTED]																		
助成金・補助金等	[REDACTED]																		
その他収入	[REDACTED]																		
自己財源	[REDACTED]																		
大ホール																			
事業実施状況																			
9月4日	(具体的な実施状況)																		
2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	実施までに発生した問題	毎年開催しているレギュラー公演であり、問題なく開催することができた。									
9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	参加者・観客者の反響等			劇団四季の人気プログラムの一つ「ウェストサイド物語」ということもあり、集客も順調で、来場者にも喜んでもらうことができた。								
4日 公演									今後の見込み	毎年恒例の劇団四季公演だが、開催地側でプログラムの要望を出すことができないのが悩み。今回のような人気プログラムでは、順調な集客が図れるが、時には失敗に終わる作品もある。地味な内容の公演であっても、四季作品は高いクオリティを有しているため、そのことを県民に伝えるような努力をする必要があると考えている。									
入場者・参加者等	目録入場者	(内訳)						今後の見込み			舞台芸術を目指す県出身の若者が、ここ数年劇団四季に入団している。次年度には、舞台へ立つ見通しとなっていることから、山梨公演への出演を劇団に求めていく。								
		出演者	40人	スタッフ	60人	入場者	1,700人												
後援者名・協賛者																			

平成28年度 事業報告書

事業名	フェスタ県文ステージ祭り																											
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)																											
出演者など (出演者など) 小ホール	県内で舞台芸術に取り組む人たちに発表の場を提供する事業。クラシック音楽、ポップス、演芸、芝居、ダンスなどジャンルを問わず出演者を公募する。発表の機会を提供することで、文化活動に取り組む県民のモチベーションを高め継続的な活動を促す。出演者が他分野のステージアーティストと交流を図る場としても効果をあげている。																											
事業実施状況	(具体的な実施状況)																											
4月17、29日、5月7日、9月24日																												
2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																				
2017年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																				
実施内容	<p>17日クラシック音楽部門 27日～28日場当たり、リハーサル 29日ダンス、演芸、ニューミュージック部門 6日場当たり、リハーサル 7日ダンス、ニューミュージック部門</p> <p>23日場当たり、リハーサル 24日ダンス、ニューミュージック部門</p>																											
入場者・参加者等	目標入場者	<table border="1"> <tr> <td>(内訳)</td> <td>4月17日</td> <td>4月29日</td> <td>5月7日</td> <td>9月24日</td> </tr> <tr> <td>出演者</td> <td>85人</td> <td>450人</td> <td>170人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>400人</td> <td>1,000人</td> <td>400人</td> <td>300人</td> </tr> </table>							(内訳)	4月17日	4月29日	5月7日	9月24日	出演者	85人	450人	170人	70人	スタッフ	10人	20人	20人	20人	入場者	400人	1,000人	400人	300人
(内訳)	4月17日	4月29日	5月7日	9月24日																								
出演者	85人	450人	170人	70人																								
スタッフ	10人	20人	20人	20人																								
入場者	400人	1,000人	400人	300人																								
後援者名・協賛者																												
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	出演者による口コミ広報を柱にしている。これに加えて、ホールのホームページ、広報誌でのPRや公立施設や集客施設へのチラシ設置で周知を図った。																											
総事業費	4,710,000円																											
入場料収入																												
助成金・補助金等																												
その他収入																												
自己財源																												
実施内容の発生した問題点	年々、参加希望者が増加している。スケジュールの都合上抽選で出演者を決定している。こうしたことを少しでも解消するため、本年度は恒例の春開催に加え「秋のフェスタ県文」を実施した。これにより多くの出演希望者にステージに立ててもらうことができた。しかし、これに伴い一般のホール利用者の利用機会を奪っていることも否めない。																											
参加者・観覧者の応募等	年を追うごとに増加する出演希望者を見ても出演者、来場者共に満足頂いていると実感している。																											
実施内容の発生した改善点等	県内で舞台芸術に取り組む個人、団体の目標となる舞台に成長している。出演希望者の増加や新たなジャンルからのエントリーなど指定管理者が目指した効果を上回る成果を上げている。																											
次年度以降の展開の展望	出演規模者の増加と施設利用とのバランスを考えた開催を検討する。秋については、施設利用希望も多いシーズンであることから次年度は一旦開催を見合わせる。春については、例年通り施設利用希望の少ないゴールデンウィーク中に開催する予定。																											

平成28年度 事業報告書

事業名		倅田來未 ライブ																	
主催・共催状況	単独主催 (共催あり (共催先:)山梨日日新聞、山梨放送)												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	新聞テレビによるPRとアーティストのファンクラブを通しての開催告知。ホールでは、チケットの先行扱いなどの情報をホームページを通して実施した。					
事業実施状況	地方のホールで開催することが困難な人気アーティストの公演を、メディアと協力して招聘した事業。ホールは会場費の一部、メディアはPR費の一部を負担することで公演を実現させたもの。倅田來未のライブは、これまで2回の公演で全て完売しており、県民からの開催要望も高いコンサート。												総事業費	115,000円					
5月29日	(具体的な実施状況)												入場料収入						
	2016年												助成金・補助金等						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					その他収入						
					-4日公演								自己財源						
	2017年												ホールの駐車スペースが少ないことから県外の来場者が周辺の商業施設などに無断で長時間駐車する問題が発生した。駐車場問題は、この公演に関わらず発生しているが、今回はアーティストの名前や写真などでマッピングされた車両が周辺施設などに不法に駐車されていたため問題が一層顕在化した。						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月					公演の度にチケットが完売となる人気コンサートで県民からの開催要望も多い。今回のコンサートも多くの方に来場頂き喜んでもらうことができた。						
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)										地方都市で開催することが簡単ではない人気アーティストの公演をプロモーターやプロダクションに働きかけて招致する事業。多彩なアーティストを招致することができており、音楽ファンには喜んで頂いていると思う。今後も人気アーティストの公演は、積極的に招致したい。駐車場問題については、満車情報のネットによる配信や周辺通射場の案内など、引き続き良策に取り組んで行く。							
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,920人</td> </tr> </table>										出演者	1人	スタッフ	50人	入場者	1,920人	人気アーティストが山梨県を飛ばしてツアースケジュールを組んでしまう傾向をここ数年で是正できていると考えている。県民に鑑賞機会の少ない公演を提供するため今後もアーティストのプロダクションや大手プロモーターへの働きかけを続ける。	
出演者	1人																		
スタッフ	50人																		
入場者	1,920人																		
後援者名・協賛者																			

平成28年度 事業報告書

事業名	ワークショップ1 子どものための日本舞踊ワークショップ																																																							
主催・共催状況	単独主催 (共催あり (共催先:)日本舞踊連盟 山梨県支部																																																							
事業の概要 (出演者等)	文化による地域活性化を図る目的で開催する各種ワークショップ。鑑賞するだけの文化振興ではなく、一人でも多くの県民に文化に係る機会を提供するために開催している。本年度は、小学生を対象とした日本舞踊のワークショップを開催した。																																																							
事業実施状況	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1" data-bbox="237 464 1151 715"> <thead> <tr> <th>2016年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9日無村休学会 ・13日第1回ワークショップ ・27日第2回ワークショップ</td> <td></td> <td></td> <td>・13日第7回ワークショップ ・27日第8回ワークショップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・11日第3回ワークショップ ・25日第4回ワークショップ</td> <td></td> <td>・15日第5回ワークショップ ・29日第6回ワークショップ</td> <td>・10日第9回ワークショップ ・24日第10回ワークショップ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					9日無村休学会 ・13日第1回ワークショップ ・27日第2回ワークショップ			・13日第7回ワークショップ ・27日第8回ワークショップ						・11日第3回ワークショップ ・25日第4回ワークショップ		・15日第5回ワークショップ ・29日第6回ワークショップ	・10日第9回ワークショップ ・24日第10回ワークショップ																						
2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																
				9日無村休学会 ・13日第1回ワークショップ ・27日第2回ワークショップ			・13日第7回ワークショップ ・27日第8回ワークショップ																																																	
				・11日第3回ワークショップ ・25日第4回ワークショップ		・15日第5回ワークショップ ・29日第6回ワークショップ	・10日第9回ワークショップ ・24日第10回ワークショップ																																																	
入場者・参加者等	<table border="1" data-bbox="237 715 1151 959"> <thead> <tr> <th></th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>2017年</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・6日第11回ワークショップ ・14日第12回ワークショップ ・21日第13回ワークショップ ・28日第14回ワークショップ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・5日第15回ワークショップ ・12日第16回ワークショップ ・18日第17回ワークショップ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月	4月	・6日第11回ワークショップ ・14日第12回ワークショップ ・21日第13回ワークショップ ・28日第14回ワークショップ										・5日第15回ワークショップ ・12日第16回ワークショップ ・18日第17回ワークショップ																											
	9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月	4月																																															
・6日第11回ワークショップ ・14日第12回ワークショップ ・21日第13回ワークショップ ・28日第14回ワークショップ																																																								
・5日第15回ワークショップ ・12日第16回ワークショップ ・18日第17回ワークショップ																																																								
後援者名・協賛者	<table border="1" data-bbox="237 959 1151 1182"> <thead> <tr> <th>目標受講者</th> <th>(内訳)</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>28人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>指導者・スタッフ</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>10月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>28人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指導者・スタッフ</td> <td>18人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※人数は1回あたり</p>								目標受講者	(内訳)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	参加者	28人	28人	28人	28人	28人	28人	28人	指導者・スタッフ	18人	18人	18人	18人	18人	18人	18人			10月						参加者	28人							指導者・スタッフ	18人						
目標受講者	(内訳)	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																	
参加者	28人	28人	28人	28人	28人	28人	28人																																																	
指導者・スタッフ	18人	18人	18人	18人	18人	18人	18人																																																	
		10月																																																						
参加者	28人																																																							
指導者・スタッフ	18人																																																							
<p>広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)</p> <p>参加者募集チラシを公立施設や集客施設に配布。ホールのホームページ上で募集告知を行った。</p>	<p>総事業費</p> <p style="text-align: right;">473,040円</p>	<p>入場料収入</p>	<p>助成金・補助金等</p>	<p>その他収入</p>	<p>自己財源</p>	<p>実施までに発生した問題</p> <p>幼少期に日本の伝統文化に触れてもらい、将来の実演者、鑑賞者を育成を目的に開催。小学校の低学年を中心に募集をかけたが、応募者がすぐに定員に達するなどスタートから順調に開催できた。多くが保護者の意向で参加したと考えられるが、子どもたちも真剣に稽古に取り組んだ。</p> <p>通常の生活の中で接しにくい文化を取り上げ普及させえることもホールの重要な役割だと考えている。日本の伝統的な様式美など忘れられつつある文化を継承して行く上で指導者が多い日本舞踊はうってつけの題材だった。「子どもの舞の態度や仕草が変化した」など保護者からも好意的な感想を頂いた。また、受講者が日本舞踊連盟山梨県支部の公演にゲスト出演する機会を設けてもらい、日本舞踊教会から大きな成果を上げた」という評価をいただいた。</p> <p>当ホールで一定期間にわたり開催するワークショップは、初歩の技術を習得すると同時に稽古の成果を舞台上で発表し、人の前で演ずる体験までをプログラムとしている。学ぶだけでなく、習得した技術をステージで披露し完結させるワークショップを今後も継続して開催する予定。</p>																																																		

平成28年度 事業報告書

事業名		辻井伸行&ヨーロッパ室内管弦楽団コンサート																			
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	前年開催した辻井伸行のリサイタルで本人が本コンサートの開催を告知するハブニングがあった。これを機に問合せも多数あり、早い段階からコンサート情報が県民に認知されていた。 こうした流れから新聞などメディアを通したPRも順調に展開できた。							
出演者の概要 (出演者ない)	ヨーロッパの一流オーケストラと世界的ピアニスト辻井伸行によるコンサート。身体的ハンディを克服し正解を舞台に活躍する辻井さんは、27年度にもリサイタルを開催し好評。県民からのニーズも高いため、世界一流オーケストラとのコンサートを招聘するもの。																				
大ホール																					
事業実施状況														総事業費	15,875,000円						
10月29日														入場料収入							
	(具体的な実施状況)													助成金・補助金等							
	2016年																				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月													
	9月	10月	11月	12月	2017年																
		・29日公演			1月	2月	3月	4月													
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)											実施後の感想及び反省点	世界的オーケストラと辻井伸行との共演で素晴らしい演奏会となった。来場者にも満足してもらえた。							
後援者名・協賛者													本年度以降の展開・展望	世界的クラシック演奏家の公演は、可能な限り開催して行く方針。							

出演者	46人
スタッフ	30人
入場者	1,530人

平成28年度 事業報告書

事業名		劇団四季 心の劇場												
主催・共催状況	単独主催 (共催あり) (共催先:) 劇団四季、甲府市教育委員会												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	甲府市教育委員会を通して甲府市内の全公立小学校に案内した。
事業の概要 (出演者など)	甲府市内の小学5年生を対象としたミュージカル鑑賞会。甲府市教育委員会、劇団四季と共催で開催している。													
大ホール													総事業費	541,500円
事業実施状況													入場料収入	
10月31日	(具体的な実施状況)												助成金・補助金等	
	2016年												その他収入	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					自己財源	
					2017年								実施までに発生した問題点	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月					参加者・観覧者の反響等	当協働事業体が指定管理を始めてから毎年恒例で開催している。スタート時には、会場までのアクセスなどから参加をためらう小学校が少なからずあったが、現在では、ほとんどの小学校が開催を期待している。内容も劇団四季の高いクオリティで素晴らしい公演となっている。
	31日公演												実施後の感想及び今後の見込み等	甲府市教育委員会を初め参加小学校から高い評価いただいている。資金面で劇団四季側からの要求も高くなってきているが、開催を心待ちにしている小学生の期待を裏切らないよう予算措置を講じて行く方針。
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)										実施後の感想及び今後の見込み等	劇団四季、甲府市教育委員会と連携を図り継続開催の方針	
		出演者	30人											
		スタッフ	30人											
		入場者	1,610人											
後援者名・協賛者														

平成28年度 事業報告書

事業名		山の都ふれあいコンサート														
主催・共催状況	単独主催 (共催あり) (共催先:) 山野都ふれあいコンサート実行委員会												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)		実行委員会主体で障害者関係施設、JCなどを通してPR。ホールでは、広報誌とホームページで告知。	
事業の概要 (出演者など)	障害者と健常者が協働で創作するミュージカルステージ。障害者の社会参加を促すとともに、障害者に対する社会の理解を深める目的で実行委員会との共催で開催。															
小ホール																
事業実施状況													総事業費		837,000円	
11月13日													入場料収入		[REDACTED]	
	(具体的な実施状況)												助成金・補助金等		[REDACTED]	
	2016年												その他収入		[REDACTED]	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					自己財源		[REDACTED]	
					2017年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月								
			-13日公演													
入場者・参加者等	目標入場者		(内訳)										実施後の効果及び反響等		一部の援助が打ち切られるなど資金面において課題の多い事業だが、このステージの意義を理解し協力する個人団体によって支えられている。	
			出演者		80人											
			スタッフ		40人											
			入場者		660人											
後援者名・協賛者													今後の見込み等		当協働事業体では、このステージをキッカケに国民文化祭やまなし2013の閉会式に障害者の参加を提案し実現させた。その閉会式を演出した文学座の望月純吉さんが現在このステージの総合演出を勤めている。来場者を大きな感動に包むこのステージが継続して開催できるよう、当協働事業体も尽力する方針。	

平成28年度 事業報告書

事業名		西本智実&エルサレム交響楽団											
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)												
事業の概要 (出演者など)	当ホールのアーティストアドバイザーを勤める世界的指揮者、西本智実さんが海外の一流オーケストラを指揮するコンサート。当ホールで西本さんが海外オーケストラと演奏するのは、6年ぶり。県民に世界の一流アーティストの芸術に触れる機会を提供する事業。												
大ホール													
事業実施状況	11月28日												
	(具体的な実施状況)												
	2016年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					
	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月					
			・28日公演										
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)											
		出演者	35人										
		スタッフ	15人										
		入場者	950人										
後援者名・協賛者													
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	テレビ、ラジオ、新聞などメディアを活用したPR。ホームページやホールの広報誌で周知を図った。												
総事業費												11,400,000円	
入場料収入													
助成金・補助金等													
その他収入													
自己財源													
実施まで発生した問題点	本年度は、辻井伸行をソリストに迎えたヨーロッパ室内管弦楽団と本公演の海外一流オーケストラによる2つの公演を開催した。この結果、後追いついた本公演の集客が難しかった。同一年度におけるオーケストラコンサート開催の難しさが浮き彫りとなった。												
参加者への課題	マーラーの交響曲第5番とモーツァルトの最後のピアノコンチェルトという長大なプログラム。特にマーラーの交響曲は、技術面やオーケストラ編成の問題から頻繁に開催できるプログラムではなく、来場者に大いに評価された。県内の音楽関係者も多数来場いただいたが、ほとんどの方に稀有の名演奏だったとの評価を頂いた。												
実施後の感想及び今後の課題	前述したが、同一年度内のオーケストラコンサートの複数開催について課題を残した。しかし、世界一流のアーティストを招聘する機会は、見逃しがたいものがある。多くの県民に本当の芸術に触れてもらうため、公演の素晴らしさを発信し隠せず優れた舞台芸術の招聘に取り組みたい。												
今後の展望	次年度も国際的なオーケストラコンサートを計画している。												

平成28年度 事業報告書

事業名	狂言会ワークショップ								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	県内の全公立小学校への案内状配布																																																		
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)																																																											
事業の概要 (出演者など) 小ホール	狂言を教材に古典の学習をする小学校6年生の児童に本物の狂言を鑑賞し、表現方法や所作を体験してもらおうと言う事業。多くの子ども達に日本古来の文化に触れる機会を作り文化に親しみ支える心をはぐくむため、県内の公立小学校児童を対象に開催する。																																																											
事業実施状況 12月5.6日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1" data-bbox="235 518 1176 774"> <tr> <td colspan="2">2016年</td> <td colspan="2">2017年</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>4月</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>5.6日</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>								2016年		2017年						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月									9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				5.6日						<table border="1" data-bbox="1344 391 2060 774"> <tr> <td>総事業費</td> <td>5,238,000円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>	総事業費	5,238,000円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源	
2016年		2017年																																																										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																					
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																					
			5.6日																																																									
総事業費	5,238,000円																																																											
入場料収入																																																												
助成金・補助金等																																																												
その他収入																																																												
自己財源																																																												
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)						文化庁からの助成金額の削減。県内全小学校からホールまでのアクセスを確保するため助成金を申請しているが、毎年削減されている。これに対し、参加校は増加傾向にあり参加者の移動費は増加傾向。解説書の印刷費や当日の外注スタッフ費用などを削って移動手段に掛かる費用に充当ししのいだ。	文化庁からの助成金額の削減。県内全小学校からホールまでのアクセスを確保するため助成金を申請しているが、毎年削減されている。これに対し、参加校は増加傾向にあり参加者の移動費は増加傾向。解説書の印刷費や当日の外注スタッフ費用などを削って移動手段に掛かる費用に充当ししのいだ。																																																			
		<table border="1" data-bbox="470 1077 806 1157"> <tr> <td>出演者</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,330人 (3回合計)</td> </tr> </table>	出演者	5人	スタッフ	15人	入場者	1,330人 (3回合計)							参加校の増加や、ワークショップ後の学校、児童からの反応などとてもよく成果なので文化振興事業だと認識している。	参加校の増加や、ワークショップ後の学校、児童からの反応などとてもよく成果なので文化振興事業だと認識している。																																												
出演者	5人																																																											
スタッフ	15人																																																											
入場者	1,330人 (3回合計)																																																											
後援者名・協賛者									学校現場からの反応など充実した事業展開ができているが、全県の小学校を対象として実施できるかどうかは、助成金次第。	学校現場からの反応など充実した事業展開ができているが、全県の小学校を対象として実施できるかどうかは、助成金次第。																																																		

平成28年度 事業報告書

事業名		狂言会 特別公演「楯山節考」																		
主催・共催 状況	単独主催 共催あり (共催先:)												広報・集客方法等 (具体的に、時期、 回数、内容等)	新聞、テレビなどメディアによるPR及びホールの情報誌、ホームページへの掲載						
非採の既演 (出演者ない)	県民に優れた伝統芸能を紹介するための事業。小学生を対象にしたワークショップとセットで万作の会に公演をお願いしている。本年は、人間国宝の野村万作氏が58年ぶりに再演した深沢七郎原作の「楯山節考」を万作、萬斎親子共演で上演した。																			
小ホール																				
事業実施 状況	12月6日												総事業費	4,321,404円						
	(具体的な実施状況)												入場料収入							
	2016年												助成金・補助金等							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月							その他収入					
																自己財源				
					2017年															
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月												
				・6日 公演																
入場者・参 加者等	目標入場者	(内訳)											実施後の感想等の 反響等							
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>700人</td> </tr> </table>											出演者	15人	スタッフ	30人	入場者	700人	ワークショップや狂言会を通して万作の会との連携を深めている。そうした中から地方都市での公演の機会が困難な公演を実現した。伝統の技で県ゆかりの作品を鑑賞する機会を県民に提供できたことは、大きな成果であった。日常から文化団体との情報交換、連携を深め貴重な舞台の実権に勤めて生きたい。	
出演者	15人																			
スタッフ	30人																			
入場者	700人																			
後援者名・ 協賛者													万作の会との 連携・協賛	野村萬斎さんを中心とした狂言会を例年通り開催する予定。						

平成28年度 事業報告書

事業名		県民第九コンサート													
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)	県内で活躍するプロやアマチュアの音楽家が一夜限りのオーケストラと合唱団として集い、ベートーベンの交響曲第9番を演奏するコンサート。クラシック音楽を鑑賞するだけでなくつくり上げる喜びを体験してもらうことで、音楽文化の普及、拡大を目指す。												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシ、ポスタによる告知。ホールへの情報誌、ホームページを使ったPRなどに加え、出演者自身による告知に取り組んだ。
	大ホール														
事業実施状況	12月11日	(具体的な実施状況)												総事業費	3,813,000円
	2016年														
実施までに発生した問題点	2017年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	・15日 第1回実行委員会 ・6日 第2回実行委員会 ・出演者募集開始			実施までに発生した問題点	年末恒例のベートーベン交響曲第9番だけでなく、高等学校文化連盟合唱部門の生徒を迎えて合唱とオーケストラによる演奏をプログラムに入れて以来、このプログラムも聞くために来場する人が増えている。第九の演奏レベルも上がっており来場者を満足させている。	
	・合唱(初心者講習)5回 ・オーケストラ練習3回	・合唱練習4回 ・オーケストラ練習3回	・合唱練習3回 ・オーケストラ練習4回	・合唱練習5回 ・オーケストラ練習4回	・11日 公演										
入場者・参加者等	目標入場者 1200人	(内訳)												参加者、指導者の拡大等	高校生を出演者として招くとともに、合唱未経験者の参加促進を図るため導入した初心者レッスンの影響で参加者も拡大。良い方向に展開できている。
				9月		10月		11月		12月		12月(公演)			
	参加者	250人	190人	485人	360人	640人	340人								
	指導者	5人	3人	8人	3人	10人	4人								
	参加者	405人	320人	400人											
	指導者	6人	4人	3人											
	来場者	—	—	1,500人											
		*参加者、指導者数は延べ人数													
後援者名・協賛者															

平成28年度 事業報告書

事業名		ミュージカル「シンデレラ」												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)																																
主催・共催 状況	単独主催 共催あり (共催先:)												プレスリリースなどメディアへの情報発信。新聞など有料広告媒体の活用。この他ホール の情報誌、ホームページで開催告知だけでなく作品の進捗情報を発信し続けた。																																	
事業実施 状況 2月25、26 日	(具体的な実施状況)												総事業費	15,680,000円																																
小ホール	文化ホールが創作するオリジナルステージ。山梨大学の学生が創作したオペレッタをプロの演出家の 指導で一般公演が可能な作品に構成しなおし、山梨ゆかりの若手アーティストを出演者に創作する。 演出、舞台監督はプロに委託し、本格的な作品づくりをするがホール職員や舞台創作に興味のある県 民が補佐に入り、創作技術を身につけることも計画している。												入場料収入																																	
	2016年												助成金・補助金等																																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					その他収入																																	
					・7日 スタッフ、出演者顔合わせ ・18日 第1回WS			・19日 第2回WS						自己財源																																
	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月																																						
	・稽古4回	・稽古4回	・稽古4回	・稽古4回	・稽古12回	・稽古12回																																								
					・22日舞台設営 ・23日テクリハ ・24日ドレスリハ・ゲネプロ ・25、26日公演																																									
入場者・参 加者等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">目標入場者 900人 2公演計</td> <td colspan="4">(内訳)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【練習参加】</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>-</td> <td>10月</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>35人</td> <td>11月</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>20人</td> <td>12月</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>30人</td> <td>1月</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>30人</td> <td>2月</td> <td>519人</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>32人</td> <td colspan="2">参加者は延べ人数</td> </tr> </table>												目標入場者 900人 2公演計	(内訳)				【練習参加】				4月	-	10月	110人	5月	35人	11月	90人	6月	20人	12月	75人	7月	30人	1月	480人	8月	30人	2月	519人	9月	32人	参加者は延べ人数		山梨県出身者のみをキャスト、演奏者に迎えて開催した作品。プロのカンパニーによる プロジェクトと異なり、出演者の練習スケジュールの調整が難航した。また、舞台美術も ホールスタッフとボランティアの学生らで行ったため作業の遅延などによるスケジュール 変更が多発した。
目標入場者 900人 2公演計	(内訳)																																													
	【練習参加】																																													
	4月	-	10月	110人																																										
	5月	35人	11月	90人																																										
	6月	20人	12月	75人																																										
	7月	30人	1月	480人																																										
	8月	30人	2月	519人																																										
9月	32人	参加者は延べ人数																																												
後援者名・ 協賛者													戸楽家、役者、演奏家山梨ゆかりの多彩な才能が集結した舞台。出演写真は、それぞ れの経歴を共有しあい資質を高めることができた。また、来場者からも期待以上の作品であったとの評価を頂いた。																																	
													文化ホールのオリジナル作品づくりは、2013年の国民文化祭やまなし2013開催以降、主 要活動として取り組んでいる。本作品を初め主要3作品を公開しているが、いずれも好 評。今後も県内のあらゆる才能を集結した作品づくりに取り組んで行く考え。しかし、一方で 招聘公演に比べ、大きなコストがかかる点が課題。国や文化支援団体などの助成金を積 極的に取り込み、オリジナル作品で山梨の魅力を全国に発信できる取り組みに結び付 けたい。																																	
													来年度も、本作品を再演予定。この他、県民俳優による「演劇」や県民文化 ホールで創作したエンターテインメント作品の市町村ホールへのアウトリーチ公 演を予定している。																																	

平成28年度 事業報告書

事業名	【ミュージカルシンデレラ】アウトリーチ								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)							
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)															
事業の概要 (出演者など)	地理的要素や身体的理由などからホールに脚を運ぶことのできない人たちのために、ステージアートの魅力を伝えるための事業。ホールの公演事業や創作事業に出演、参加しているアーティストや県内を拠点に活動しているアーティストの協力で開催する予定。 自主制作ミュージカル「シンデレラ」のダイジェストをクリスマス商戦でにぎわう昭和町のショッピングモールで披露。子どもやお年寄りら舞台芸術に縁の薄い方々にミュージカルの楽しさを伝えた。															
事業実施状況									総事業費							
12月25日									入場料収入							
	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等							
	2016年								その他収入							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	自己財源							
					2017年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月								
入場者・参加者等	目標入場者数	(内訳)							実施までに発生した問題点							
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>客席200席他買い物客</td> </tr> </table>							出演者	8人	スタッフ	6人	入場者	客席200席他買い物客	参加者・経営者の反響等	シンデレラの項目に一括
出演者	8人															
スタッフ	6人															
入場者	客席200席他買い物客															
									実施後の感想及び反省点等							
									本年度以降の展開・展望等							
後援者名・協賛者																

平成28年度 事業報告書

事業名	「ミュージカルシンデレラ」アウトリーチ									
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	
事業実施状況 2月17日	文化ホールで創作するオリジナル作品を教育現場にアウトリーチし、生徒らにステージアートの素晴らしさや舞台制作の意義などを伝える事業。アウトリーチ先の山梨県立甲府西高等学校は、生徒の個性を伸ばす教育に取り組んでおり、芸術系の進路を選択する生徒が多い。アウトリーチ作品のミュージカル「シンデレラ」の出演者にも同校出身者が多数いることからアウトリーチの効果が高いと考え実施した。作品の全編公演と、演出家による解説、同校出身者によるアフタートークを開催した。									総事業費
	(具体的な実施状況) 2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月									入場料収入
	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	実施までに発生した 問題点	
入場者・参加者等	目標入場者 人	(内訳) 出演者 30人 スタッフ 11人 入場者(高校生) 550人							参加者・観覧者の 反響等	シンデレラの項目に一括
後援者名・協賛者									実施後の感想及び 反省点等	
									次年度以降の 展開・展望	

平成28年度 事業報告書

事業名		高校演劇講座								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)								高等学校文化連盟演劇部門加入校へ直接連絡		
事業の概要 (出演者ない)	高等学校文化連盟演劇部門の技術向上を目的に開催。夏休みを利用し、ホールスタッフによる舞台技術講習とプロの演出家、俳優による演出演技指導を開催。										
小ホール											
事業実施状況	8月1～4日								総事業費	1,522,800円	
	(具体的な実施状況)								入場料収入		
	2016年								助成金・補助金等		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入		
				・高文連と開催内容の検討		・参加者確定		・1～4日講習	自己財源		
	2017年								実施までに発生した問題点		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	参加者・観覧者の反響等	前の指定管理者時代に高校生に舞台技術を学んでもらう機会として始まり、継続している事業。当協働事業体においては、これに演技、演出指導も加え実施している。プロの演出家やプロの役者から直接作品づくりを学ぶことのできる機会として、歓迎されている。	
入場者・参加者等	目標参加者 80人	(内訳)								実施後の感想及び反響等	照明、音響など舞台技術から演出、演技まで広くプロの技を体験してもらった講座で、高校演劇のレベルアップにも貢献している。反面、大会などへ向けた長期的な計画づくりに問題を抱える高校も見受けられた。
		講師	3人	3人	3人	3人					
		参加者	111人	111人	111人	111人					
		スタッフ	6人	6人	6人	6人					
		来場者									
後援者名・協賛者									次年度以降の展開・要望	引き続き講座を開催して行くが、学校側の要望や生徒のレベルに合わせて講座内容を変化させて行く必要性を感じている。	

平成28年度 事業報告書

事業名		やまなしジュニアオーケストラ																																					
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	入団者募集チラシ、ポスタの公共施設、集客施設への配布配布。定期演奏会のチラシ。ポスタの配布及びホールの情報誌、ホームページへの掲載。																													
事業の概要 (出演者など) 小ホール等	文化ホールのレジデンスとして小学3年生から高校3年生までのメンバーで構成するオーケストラ。毎月2回の練習と、小ホールでの定期演奏会を開催。この他、河口湖音楽祭への出演など地域のイベントにも参加している。																																						
事業実施状況	3月26日								総事業費 3,200,000円	入場料収入 []																													
	(具体的な実施状況)										助成金・補助金等 []	その他収入 []																											
	2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	自己財源 []																													
		9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月		4月																												
											実施までに発生した問題点																												
											参加者・観客者の反応等																												
											実施後の感想及び反省点等																												
入場者・参加者等	目標入場者 300人 定期演奏会来場者	(内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">【練習参加】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>100人</td> <td>10月</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>100人</td> <td>11月</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>100人</td> <td>12月</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>100人</td> <td>1月</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>100人</td> <td>2月</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>100人</td> <td>3月</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>				【練習参加】				4月	100人	10月	100人	5月	100人	11月	100人	6月	100人	12月	100人	7月	100人	1月	100人	8月	100人	2月	100人	9月	100人	3月	100人	【定期演奏会】 出演者・関係者 120人 入場者 600人					団員の保護者による組織を結成。団の運営をホールの事務局と両輪で行う体制を確立した。保護者が団の活動に主体的に関わることで、演奏機会の拡大など新たな展開が期待される。
【練習参加】																																							
4月	100人	10月	100人																																				
5月	100人	11月	100人																																				
6月	100人	12月	100人																																				
7月	100人	1月	100人																																				
8月	100人	2月	100人																																				
9月	100人	3月	100人																																				
後援者名・協賛者									次年度以降の展開・展望	新年度は、海外の一流オーケストラの公演にゲスト出演する計画。団員の技術向上やモチベーションを高めるため、ホールだからこそ可能な取り組みを進める。																													

平成28年度 事業報告書

事業名		真嶋雄大面白クラシック																																																																																																																																												
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	他会場で開催されていた同講座の継続受講者への案内、チラシ、ホール情報誌への記事掲載。																																																																																																																																
事業実施状況 毎月1回	<p>山梨県在住の音楽評論家、真嶋雄大さんによるクラシック音楽講座。毎月1回開催し、プロの演奏家やクラシックに造詣の深い文化人などをゲストに迎え、トークと実演や記録メディアで音楽の素晴らしさを伝えている。</p> <p>会議室</p> <p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="8">2016年</th> <th colspan="4">2017年</th> </tr> <tr> <th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th> <th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th> <th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>・16日</td><td>・7日</td><td>・11日</td><td>・16日</td><td></td> <td>・24日</td><td>・15日</td><td>・12日</td><td>・10日</td> <td>・14日</td><td>・25日</td><td>・18日</td><td></td> </tr> </table>														2016年								2017年				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				・16日	・7日	・11日	・16日		・24日	・15日	・12日	・10日	・14日	・25日	・18日																																																																																					
2016年								2017年																																																																																																																																						
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																																																																																															
			・16日	・7日	・11日	・16日		・24日	・15日	・12日	・10日	・14日	・25日	・18日																																																																																																																																
入場者・参加者等	<p>目標入場者 90人 (1講座1階当たり)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="16">(内訳)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">4月</th><th colspan="2">5月</th><th colspan="2">6月</th><th colspan="2">7月</th><th colspan="2">8月</th><th colspan="2">9月</th> </tr> <tr> <td>出演者</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">10月</th><th colspan="2">11月</th><th colspan="2">12月</th><th colspan="2">1月</th><th colspan="2">2月</th><th colspan="2">3月</th> </tr> <tr> <td>出演者</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td><td>2人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>5人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td><td>120人</td> </tr> </table>												(内訳)																		4月		5月		6月		7月		8月		9月		出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	入場者	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人			10月		11月		12月		1月		2月		3月		出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	入場者	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	実施までに発生した問題点	
(内訳)																																																																																																																																														
		4月		5月		6月		7月		8月		9月																																																																																																																																		
出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人																																																																																																																																	
スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人																																																																																																																																	
入場者	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人																																																																																																																																	
		10月		11月		12月		1月		2月		3月																																																																																																																																		
出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人																																																																																																																																	
スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人																																																																																																																																	
入場者	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人	120人																																																																																																																																	
後援者名・協賛者													参加者・経営者の反響等	多彩なゲストを迎え、トークと実演で展開する教養講座は、受講者に好評。会場や開催日も固定化したことで、参加者も増加している。																																																																																																																																
													実施後の感想及び反省点等	ホールで開催するコンサートや、その他のステージアート公演との連携が図れた。																																																																																																																																
													次年度以降の展開・展望	講座の継続開催と共に、講座と連携した多彩なコンサートを計画している。																																																																																																																																
													総事業費	516,000円																																																																																																																																
													入場料収入																																																																																																																																	
													助成金・補助金等																																																																																																																																	
													その他収入																																																																																																																																	
													自己財源																																																																																																																																	

平成28年度 事業報告書

事業名		ウィーン木管五重奏団コンサート「音楽の都からの贈り物」																	
主催・共催状況	単独主催 (共催あり) (共催先:) ウィーン商会	広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)																	
事業実施状況	10月13日	ホールのホームページ、広報誌を活用したPR。また、音楽教育振興要素の高いコンサートであったことから、山梨県吹奏楽連盟の協力を頂き、中学校、高等学校の吹奏楽部へ集客を呼びかけた。																	
大ホール	年度事業計画策定後に山梨県の観光プロモーション課を通して「ウィーン商会」より提案された事業。ウィーンフィルをはじめ、オーストリアの名門オーケストラで活躍している一流アーティストによる木管アンサンブルコンサート。東京でのコンサートの空きスケジュールを利用し低予算で開催することが可能で、県民に本物の音楽の鑑賞機会を提供できるため、当共同事業体の自主事業として開催。	総事業費 1,360,000円																	
事業実施状況	10月13日	入場料収入																	
	(具体的な実施状況)	助成金・補助金等																	
	2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入									
										自己財源									
										実施までに発生した問題点									
										年度が始まってから持ち上がった企画であったため、準備期間が短かく、コンサート内容の決定などが遅延した。									
										参加者・観覧者の反響等									
										世界で活躍する一流演奏家によるアンサンブルであり、来場者には大好評となった。PR期間が短かったにもかかわらず、多くの来場者を迎えることができた。									
										実施後の感想及び反省点等									
										山梨県内で国際的なアーティストの技術に触れることのできる機会は、そう多くない。急な企画であったが、機会を捉え強行してよかったと考えている。									
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)																	
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>450人</td> </tr> </table>												出演者	5人	スタッフ	35人	入場者	450人
出演者	5人																		
スタッフ	35人																		
入場者	450人																		
		次年度以降の展開・展望																	
		このコンサートをキッカケにウィーン商会との関係を構築した。新年度も引き続き開催して行く。																	
後援者名・協賛者																			

平成28年度 事業報告書

事業名		演劇公演「冒した者」								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	
主催・共催 状況	単独主催 共催あり (共催先:)								有料新聞広告によるPR。ホールホームページや広報誌に掲載告知だけでなく、主演俳優のインタビューや制作の進捗状況を掲載。		
サホの概念 (出演者ない)	甲府市出身の文学座演出家、望月純吉氏の演出作品の公演。三好十郎の異色作「冒した者」を劇団笹井事務所の役者らを出演者に制作し東京と山梨で開催した。山梨公演においては、作品の特質を来場者に実感してもらうため、小ホールのステージ上に定員120人の「小劇場」を仮設して公演を開催した。 県内には、優れた演劇作品を最適な環境で公演するための小劇場が少ない。県内のアマチュア劇団も利用できる小劇場空間を文化ホールの中に創出した。								総事業費		3,276,720円
大ホール									入場料収入		
事業実施 状況									助成金・補助金等		
12月20日	(具体的な実施状況)								その他収入		
	2016年								自己財源		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			
									・望月純吉氏と県内の劇場環境を研究 小劇場空間の整備など意見交換 ・「冒した者」のホールでの 公演を検討		
	9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月	4月	実施までに発生した問題点	
										小ホールステージに客席と仮設舞台を設け、小劇場スタイルでの公演とした。県内には、客席100席前後で設備の整った会場がなく、現代演劇の主流となっている小劇場公演が困難な状況にある。今回の公演演劇団体が求める環境をホール内に展開し、多くの演劇団体に活用してもらい狙いもあった。県内の舞台芸術に取り組む多くの方に見ていただくことができ、	
										参加者・鑑賞者の反応等	
										三好十郎の異色作品を甲府市出身の演出家、望月純吉氏が手がけた作品。県内で芸術性の高い演劇作品を鑑賞する機会や施設が少ないのが現状で、来場者には大いに満足して頂いた。	
入場者・参加者等									実施後の感想及び反省点等		内容の濃い公演となったが、来場者は予想を下回った。
	目標入場者	(内訳)		来場者		出演者、スタッフ					
	(2回公演計)	昼の部	夜の部	55人	75人	20人	20人				
後援者名・協賛者									今年度以降の展開・展望		ステージ上に仮設ステージを設ける小劇場利用を、さらに現実性の高いものとするため、新年度は県民俳優による公演を予定している。

平成28年度 事業報告書

専 業 名	映画演劇文化協会 ミュージカルワークショップ								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシとホールのホームページ、広報誌によるPR																														
主権・共催状況 <small>(出演者ない)</small>	<p>単独主催 共催あり (共催先:)</p> <p>舞台芸術を鑑賞するだけでなく、自ら体験することでより深く理解してもらおうと開催するワークショップ。ミュージカルの普及や俳優養成に取り組んでいる一般社団法人映画演劇文化協会の協力で毎年開催している。今回は、ミュージカル「レミゼラブル」など多数の作品に出演し、自ら演出もしている俳優、林アキラさんを講師に「大きな古時計」をテーマに作品の創作から発表までを体験してもらった。チラシ、ホームページ、ホール広報誌などで参加者を募集。小学生から60代後半まで幅広い参加者となった。</p>								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシとホールのホームページ、広報誌によるPR																														
事業実施状況 11月26、27日	<p>(具体的な実施状況)</p> <table border="1" data-bbox="248 555 1182 810"> <tr> <th colspan="8">2016年</th> <th colspan="2">2017年</th> </tr> <tr> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								2016年								2017年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	1月	2月											総事業費	152,000円
2016年								2017年																																
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	1月	2月																															
入場者・参加者等	目録入場者	(内訳)						実施後の感想及び反省点等	ステージアートを身近に感じてもらう目的で開催しているが、自ら体験してもらこのワークショップは目的を十分達成している。																															
後援者名・協賛者	<table border="1" data-bbox="481 1114 719 1193"> <tr> <td>講師</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ・助手</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>20人</td> </tr> </table>								講師	1人	スタッフ・助手	3人	参加者	20人	実施後の感想及び反省点等	ステージアートを身近に感じてもらう目的で開催しているが、自ら体験してもらこのワークショップは目的を十分達成している。																								
講師	1人																																							
スタッフ・助手	3人																																							
参加者	20人																																							
後援者名・協賛者									次年度以降の展開・展望	ステージアートを体験し、より身近なものとして楽しんでもらうためのワークショップについては、可能な限り開催を継続する方針。																														

平成28年度 事業報告書

事業名		朗読劇「黒駒の勝蔵」																																																																																																																																											
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)ふるさと応援ステージ実行委員会																																																																																																																																												
事業の概要 (出演者など)	山梨県にゆかりの話題を舞台アートとして県民に紹介することを目的に集まった有志の「ふるさと応援ステージ」の活動に開場提供などで協力する事業。甲州街道の博徒として名をはせた黒駒の勝蔵を朗読劇と山梨出身の世界的スチールパン奏者、珠さんの演奏で綴る作品。 講談の影響で清水の次郎長の敵役として悪役のイメージが強い勝蔵だが、人情味に溢れ晩年は動皇の志として近代日本の実現に貢献した実像を描き出す朗読劇。																																																																																																																																												
事業実施状況	1月22日																																																																																																																																												
	(具体的な実施状況)																																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2016年</th> <th colspan="2">1月</th> <th colspan="2">2月</th> <th colspan="2">3月</th> <th colspan="2">4月</th> <th colspan="2">5月</th> <th colspan="2">6月</th> <th colspan="2">7月</th> <th colspan="2">8月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>												2016年	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月																																																																																																																	
2016年	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>9月</th> <th colspan="2">10月</th> <th colspan="2">11月</th> <th colspan="2">12月</th> <th colspan="2">2017年</th> <th colspan="2">1月</th> <th colspan="2">2月</th> <th colspan="2">3月</th> <th colspan="2">4月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>												9月	10月		11月		12月		2017年		1月		2月		3月		4月																																																																																																																	
9月	10月		11月		12月		2017年		1月		2月		3月		4月																																																																																																																														
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="12">通しリハーサル ・22日公演</td> </tr> </table>													通しリハーサル ・22日公演																																																																																																																															
	通しリハーサル ・22日公演																																																																																																																																												
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)																																																																																																																																											
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>340人</td> </tr> </table>										出演者	8人	スタッフ	10人	来場者	340人																																																																																																																												
出演者	8人																																																																																																																																												
スタッフ	10人																																																																																																																																												
来場者	340人																																																																																																																																												
後援者名・協賛者																																																																																																																																													
	<table border="1"> <tr> <td>広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)</td> <td colspan="11">ホールのホームページ、広報誌をとおしてのPR及び実施団体によるチラシ配布など。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総事業費</td> <td colspan="10"></td> <td>2,735,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入場料収入</td> <td colspan="10"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>助成金・補助金等</td> <td colspan="10"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他収入</td> <td colspan="10"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>自己財源</td> <td colspan="10"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実施までに発生した問題点</td> <td colspan="10"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者・観覧者の反響等</td> <td colspan="10">2013年の国民文化祭で誕生したアマチュアの演劇団体による公演。今回はスチールパンの世界的奏者を加えての異色の作品となった。題材も郷土の歴史を振り返るテーマとなっていたことから、幅広い層の県民に会場頂き満足してもらえた。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実施後の感想及び反省点等</td> <td colspan="10">県民の手による創作活動を支援する事業。地域文化の活性化を図るためホールとして可能な支援を継続したい。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度以降の展開・展望</td> <td colspan="10"></td> <td></td> </tr> </table>												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ホールのホームページ、広報誌をとおしてのPR及び実施団体によるチラシ配布など。												総事業費											2,735,000円		入場料収入													助成金・補助金等													その他収入													自己財源													実施までに発生した問題点													参加者・観覧者の反響等	2013年の国民文化祭で誕生したアマチュアの演劇団体による公演。今回はスチールパンの世界的奏者を加えての異色の作品となった。題材も郷土の歴史を振り返るテーマとなっていたことから、幅広い層の県民に会場頂き満足してもらえた。												実施後の感想及び反省点等	県民の手による創作活動を支援する事業。地域文化の活性化を図るためホールとして可能な支援を継続したい。												次年度以降の展開・展望											
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ホールのホームページ、広報誌をとおしてのPR及び実施団体によるチラシ配布など。																																																																																																																																												
	総事業費											2,735,000円																																																																																																																																	
	入場料収入																																																																																																																																												
	助成金・補助金等																																																																																																																																												
	その他収入																																																																																																																																												
	自己財源																																																																																																																																												
	実施までに発生した問題点																																																																																																																																												
	参加者・観覧者の反響等	2013年の国民文化祭で誕生したアマチュアの演劇団体による公演。今回はスチールパンの世界的奏者を加えての異色の作品となった。題材も郷土の歴史を振り返るテーマとなっていたことから、幅広い層の県民に会場頂き満足してもらえた。																																																																																																																																											
	実施後の感想及び反省点等	県民の手による創作活動を支援する事業。地域文化の活性化を図るためホールとして可能な支援を継続したい。																																																																																																																																											
	次年度以降の展開・展望																																																																																																																																												

平成28年度 事業報告書

事業名	森山直太郎 コンサート																					
主催・共催状況	単独主催 (共催あり) (共催先:) 山梨日日新聞社 山梨放送																					
事業の概要 (出演者な)	山梨県での開催が困難なビッグアーティスト森山直太郎さんの15周年記念コンサートを、プロモーターの負担を軽減させることで招聘する事業。 会場費を指定理者の自主財源で負担し、相当分のチケット代金を収入とする形の共催事業で、指定管理者が地域へのPRやチケットの配券、コンサート当日の運営サポートなどを担当しプロモーターの負担を軽減させることで実現。																					
事業実施状況 2月4日	(具体的な実施状況)																					
	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月						
														・4日開催								
入場者・参加者等	目標入場者 500人	(内訳)																				
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>340人</td> </tr> </table>															出演者	2人	スタッフ	10人	来場者	340人
出演者	2人																					
スタッフ	10人																					
来場者	340人																					
後援者名・協賛者																						
広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	プロモーター主体による新聞、テレビなどメディアでのPR。ホールのホームページ、広報誌掲載でPR協力を行った。																					
	総事業費	377,000円																				
	入場料収入	[REDACTED]																				
	その他収入	[REDACTED]																				
	(会場利用料)	[REDACTED]																				
	自己財源	[REDACTED]																				
	実施までに発生した問題点																					
	参加者・観覧者の反響等	山梨県での開催が少ない人気アーティストの公演を招致する事業。チケットは売上の盛況で、来場者にも満足して頂いた。																				
	実施後の感想及び反省点等																					
	次年度以降の展開・展望	今後も、県内開始が難しい人気アーティストのツアー情報を収集し公演を招致する。																				

平成28年度 事業報告書

事業名		石川綾子ヴァイオリンコンサート2017															
主権・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	テレビ、新聞など有料広告を利用したPR。アーティスト本人の印鑑ビュー記事を山梨日日新聞とホールの広報誌に掲載。YBSテレビでアーティスト本人によるコンサート告知。			
事業の概要 (出演者など)	日本人でありながらオーストラリアのナンバーワンアーティストとして凱旋帰国した、ヴァイオリニスト石川綾子さんのコンサート。その技巧を駆使し、アニメソングやJポップなどを自らヴァイオリン音楽として編曲し、動画サイトなどで公開したところ、ポップスアーティストの間で評判となり、キャリアバリュエーションやMAYJのコンサートに招かれたり、テレビ出演するなど活躍の場を広げている。ジャンルを超えてヴァイオリン音楽の魅力を発信する石川さんコンサートを通して、音楽の楽しさを県民に普及させる取り組み												総事業費	1,530,000円			
事業実施状況 3月31日	(具体的な実施状況)												入場料収入				
	2016年												助成金・補助金等				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					その他収入				
													自己財源				
	9月	10月	11月	12月	2017年								実施までに発生した問題点	幅広い層に人気のヴァイオリニストのコンサートだったが、開催日が年度の末日となったことからチケットの動きが極めて遅い展開となった。多くの方から、3月31日の予定は直前まで不明などの声が寄せられた。結果的に目標の集客を達成したが、今後日程の調整など慎重に行う必要性を痛感した。			
					1月	2月	3月	4月					参加者・観覧者の反応等	子どもからおとなまで、あるいはクラシックファンからアニメソングファンまで幅広い来場者となったが、どの層にも満足行くコンサートとなった。			
入場者・参加者等	目標入場者 500人	(内訳)										実施後の感想及び反省点等	ステージ文化に新しい潮流を生み出すことが予想されるアーティストであると考え、開催の機会を捉え実施した。メディアへの露出があるアーティストだが、チケットの動きなどから山梨県の聴衆に向けては、もう少し話題性が高まってからの開催が望ましいと実感した。コンサート内容は、予想以上に素晴らしく、多くの来場者から賛賞の言葉を頂いた。				
															出演者	2人	
																スタッフ	10人
																来場者	340人
後援者名・協賛者													次年度以降の展開展望	年度に入ってから、開催の機会があったため実施した事業。話題性があるアーティストや作品については、機会を逃さず招聘し開催して行く姿勢は堅持したい。			

平成28年度 事業報告書

事業名	aikoライブ								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	山梨での開催が困難な人気アーティストの公演をホールの地域密着性と当共同事業体のグループであるメディアが協力して誘致したコンサート。ホール独自の情報誌やホームページ、メールマガジンを初め山日YBSのメディアでPRした。										
主催・共催状況	単独主催 (共催あり (共催先:) 山梨日日新聞社 山梨放送								<table border="1"> <tr><td>総事業費</td><td></td></tr> <tr><td>入場料収入</td><td></td></tr> <tr><td>助成金・補助金等</td><td></td></tr> <tr><td>その他収入</td><td></td></tr> <tr><td>自己財源</td><td></td></tr> </table>	総事業費		入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源		
総事業費																				
入場料収入																				
助成金・補助金等																				
その他収入																				
自己財源																				
事業の概要 (出演者など)	人気アーティストaikoのライブをプロモーターへの営業活動を通して招聘する。大手プロモーターSO GO TOKYOと共催でPR、チケットの配布など地域業務に協力し、出資リスクを負わずに開催する。																			
大ホール																				
事業実施状況 5月29日	(具体的な実施状況)																			
	2016年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	実施までに発生した 問題点											
					・29日公演															
	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	参加者・観客者の 反響等	若者からミドル世代に人気のアーティストによる公演で、数日でチケットが完売となる盛況ぶり。来場者からは内容の充実したコンサートだったとの感想を受けている。										
入場者・参加者等	目標入場者 1800人	(内訳)							実施後の感想及び 反省点等	首都圏からの来場者も多いコンサートとなったがホールのサポーター会員を対象とした先行予約などを行い、地元ファンのチケットを相当程度確保することができた。										
		出演者	1人						人気アーティストのコンサートが開催されにくい環境の地域となっているが、地道にプロモーターへの招致活動と、地元PR協力などを続け近年、aikoをなじめ堂レベルのアーティストのツアーが開催されるようになってきている。今後もホールの地域密着性などをPRしながら優れたコンサートの開催を実現させたい。											
		スタッフ	100人																	
		入場者	1,900人																	
後援者名・協賛者名等																				

平成28年度 事業報告書

事業名	しまじろうコンサート								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	ホールのサポーター「ミルク倶楽部」会員先行をメールマガジンで広報したほか、ホールの情報誌、ホームページでPRをおこなった。									
主催・共催状況	単独主催 (共催あり (共催先:) ベネッセコーポレーション/ING)																		
事業の概要 (出演者など)	幼児に人気のあるキャラクター「しまじろう」の新作コンサート。2年に1回の形で新作の全国ツアーを行う。幼児にステージアートの魅力を発信する。招聘元であるアイエヌジーとの共催事業								<table border="1"> <tr><td>総事業費</td><td></td></tr> <tr><td>入場料収入</td><td></td></tr> <tr><td>助成金・補助金等</td><td></td></tr> <tr><td>その他収入</td><td></td></tr> <tr><td>自己財源</td><td></td></tr> </table>	総事業費		入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源	
総事業費																			
入場料収入																			
助成金・補助金等																			
その他収入																			
自己財源																			
大ホール																			
事業実施状況																			
7月24日	(具体的な実施状況)																		
	2016年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月											
							・24日公演(2回公演)												
	9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月	4月										
入場者・参加者等	目標入場者 2000人 (2公演合計)	(内訳)							実施までに発生し 問題点										
		出演者	15人							参加者・鑑賞者の 反響等	しまじろうコンサートは、コラニー文化ホールでは毎年新作が発表される。このため、開催を心待ちにしている幼児、保護者ら固定ファンも多く。毎年好評を博している。								
		スタッフ	35人							実施後の感想及び 反省点等									
		入場者	2,200人							入場者以外の 展開・集客	鑑賞者(幼児)の世代交代はあるものの安定した集客力を持つ人気公演。ニーズがある限り公演を誘致していきたい。								
後援者名・協賛者名等																			

平成28年度 事業報告書

事業名		ピンクレディー復活ライブとリハーサル																
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先:)	中止																
事業の実施状況 (出演者ない)	<p>往年の穴スターピンクレディーの復活コンサート、大手プロモーター共同東京へのホール利用促進営業を通して実現。当ホールで全国ツアーへ向けてのリハーサルとスターとコンサートを開催する。地元へのPR、チケット配布などに協力し、支出のリスクを負わずに開催する。</p>																	
大ホール																		
事業実施状況																		
10月16日																		
	(具体的な実施状況)																	
	2016年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月										
	9月	10月	11月	12月	2017年		1月	2月	3月	4月								
入場者・参加者等	目標入場者 1500人	<p>(内訳)</p> <table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td></td> </tr> </table>											出演者		スタッフ		入場者	
出演者																		
スタッフ																		
入場者																		
後援者名・協賛者																		
	<p>広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)</p>																	
	<p>総事業費</p>																	
	<p>入場料収入</p>																	
	<p>助成金・補助金等</p>																	
	<p>その他収入</p>																	
	<p>自己財源</p>																	
	<p>実施までに発生した問題点</p> <p>アーティストの都合により公演が中止となったが情報公開前ということで混乱はなかった。</p>																	
	<p>参加者・観覧者の反響等</p>																	
	<p>実施後の感想及び反省点等</p>																	
	<p>次年度以降の展開の展望</p>																	

平成28年度 事業報告書

事業名		チューリップ45周年記念ツアー											
主催・共催状況	単独主催 (共催あり) (共催先:)キョードー東京、テレビ山梨	広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等) 往年の人気アーティストの公演。ミドル層に多数加盟いただいているホールのサポーター会員制度「ミルケ倶楽部」のメールマガジンやホールのホームページ、広報誌をととのPRとともにプロモーター手配によるテレビCMによるPRを実施											
事業の概要 (出演者など)	団塊の世代や熟年層へ向け計画していた「ピンクレディー復活コンサート」が出演者の都合により中止となったのに伴い新たに企画、招聘した。ピンクレディー同様70年代から80年代にかけて大活躍したチューリップによる結成45周年の記念コンサート。 地方都市で開催が難しい人気アーティストの公演をプロモーターに働きかけ招致する事業として、指定管理費等予算を投入せず開催する。	総事業費 入場料収入 助成金・補助金等 その他収入 自己財源											
大ホール		実施までに発生した問題点 ピンクレディーライブ中止決定 代替コンサートリサーチ ・チューリップ45周年への差し替えを交渉 ・チューリップ決定 ・PR変更申請											
事業実施状況	10月15日	(具体的な実施状況) 2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 2017年 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 ・15日 コンサート											
入場者・参加者等	目標入場者 1500人 (内訳) 出演者 10人 スタッフ 60人 入場者 1,500人	実施後の感想及び反省点等 往年の人気アーティストは、県民のニーズが読みきれないの实情で発売当日まで集客を心配したが、予想以上の来場者を迎えることができた。											
後援者名・協賛者		次年度以降の展開・展望 若者に人気のアーティストや往年のビッグアーティストらの公演は引き続き誘致活動を継続し、県民の鑑賞機会の拡大を図る。											

平成28年度 事業報告書

事業名		ミルケけんみんステージ													
主催・共催状況	①単独主催 共催あり (共催先:)												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)		
事業の概要 (出演者など)	文化ホールの県民ロビーに特設ステージを開設。ステージアートに取り組む方々に発表の場として活用してもらおう事業。大小ホールの公演日に開場を待つ来場者向けの開催や出演者が自ら集客を図り開催するなど様々なバリエーションで開催する。														
事業実施状況	(具体的な実施状況)												総事業費		
	2016年												入場料収入		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月						助成金・補助金等	
					・29日 HAPPYファミリー(トップダンス)				・10日 加賀美二朗(ギター)				・27日 7thアワード(ダンス)	その他収入	
														自己財源	
	2017年												実施までに発生した経費		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月							
				・4日 ダンスアワード(バレエ)	・29日 7thアワード(ダンス)				・18日 天の川(イノベーション研究所)					参加者・観覧者の反響等	
入場者・参加者等	(内訳)												実施後の感想及び反響等	ステージアートに取り組む団体などに定着しつつある事業。ホールとしては、出演者自らが集客し開催を進めているが、げんじょうでは、大きな公演の開場待ちの来場者を見込んで開催するもようしが大半を占める。	
	目録入場者													本年度以降の展開・展望	ステージアートの振興のため、様々な団体、個人に大いに活用してもらいたいと考えている。さらにアーティスト自らが企画し、集客するようホールで手助けをし、より活性化した事業として展開を図りたい。
		5月 HAPPY	6月 加賀美	7月 7thアワ	12月 ダンス	1月 7thアワ	3月 天の川								
		来場者	200人	150人	150人	50人	250人	50人							
		来場者													
		来場者													
		来場者													
後援者名・協賛者															

平成28年度 事業報告書

事業名		雪まろげ										広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)							
主催・共催 状況	単独主催 (共催あり (共催先:)SAC 楽屋の会																		
事業の概要 (出演者など)	県内の演劇鑑賞団体SACが主催して開催する高畑淳子主演の人気公演「雪まろげ」をPRやチケット販売などで協力するコンシェルジュ事業。																		
小ホール											総事業費		998,000円						
事業実施状況											入場料収入								
11月16日	(具体的な実施状況)										助成金・補助金等								
	2016年											その他収入							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				自己財源							
	9月	10月	11月	12月	2017年														
					1月	2月	3月	4月											
入場者・参加者等	目標入場者 500人	(内訳)										実施までに発生した 問題点							
		<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td></td> </tr> </table>										出演者		スタッフ		入場者		参加者・鑑賞者の 反応等	
出演者																			
スタッフ																			
入場者																			
												実施後の感想及び 反省点等							
後援者名・協賛者											次年度以降の 展開・展望								

平成28年度 事業報告書

事業名		ステージコンシェルジュ												広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)										
主催・共催 状況	単独主催 共催あり (共催先:)												<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,699,267円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>		総事業費	3,699,267円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源	
総事業費	3,699,267円																							
入場料収入																								
助成金・補助金等																								
その他収入																								
自己財源																								
事業の概要 (出演者など)	ホール利用者やイベントの開催を計画している個人団体にホールのノウハウを提供する事業。チケットの印刷や会場設営、イベントのPRなど。																							
大ホール																								
事業実施状況	(具体的な実施状況)																							
	2016年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年	1月	2月	3月	4月						
実施前に発生した 問題点																								
参加者・観客者の 反響等																								
実施後の感想及び 反省点等																								
入場者・参加者等	目標入場者	(内訳)											<p>コンシェルジュ事業は、当事業体が指定管理者を始めた当初から実施していた。特にホール利用者にとって従来別途発注していた印刷物や弁当(ケータリング)、会場設営などがワンストップでできることが評判となり、利用が増加している。</p> <p>利用者に対するサービスの一環として要望にはできる限り応えて行く方針。</p>											
後援者名・協賛者																								